

## シンポジウム 「妊娠を他者に知られたくない女性への支援を考える」

「誰にも知られたくない」「なかったことにしたい」という危機的な妊娠をして悩む女性はどの国にも存在し、そのための施策や民間による支援が各国で行なわれています。このシンポジウムでは、実態を知り、わが国でどうしたらよいか考えます。



困った  
どうしよう…

参加費  
無料  
先着 500名

日時 / 2018年

7/7 [土]

第1部 10:00 ~ 12:00 [受付 9:30 ~]

第2部 13:00 ~ 16:00 [受付 12:30 ~]

場所 / 国際障害者交流センター  
(ビッグ・アイ) 多目的ホール  
泉北高速鉄道「泉ヶ丘駅」下車 徒歩約3分

第1部  
午前

中学生、高校生、教員等を含む一般の方向け・申込不要

## 10代の思いがけない妊娠を考える

特に中学生、高校生の妊娠について、漫画とドラマ「コウノドリ」のモデルになった医師は医療現場での状況を、我が国で初めて都道府県レベルで設置された思いがけない妊娠の相談窓口「にんしんSOS」における状況は、大阪母子医療センターから報告します。

第2部  
午後

専門職あるいは妊娠を他者に知られたくない女性への支援に関心のある方向け

## 妊娠を他者に知られたくない女性への支援

妊娠葛藤相談や内密出産が法定化されても匿名出産やベビークラッペ※1が残されているドイツと、ベビークラッペに否定的でありながらも、民間による妊娠期からの自立支援や学業継続への支援が国の施策を動かしてきた韓国の現状を学び、我が国における「妊娠を他者に知られたくない女性への支援※2」についてディスカッションします。

※1 「赤ちゃんの扉」。わが国では慈恵病院の「こうのとりのゆりかご」の1か所。

※2 平成29年6月21日に公布された児童福祉法等の一部を改正する法律の参議院附帯決議では、「妊娠を他者に知られたくない女性に対する相談支援の方策について検討すること」と記されました。

※ 第2部に参加希望の方は、事前申込みが必要です。

下記のメールアドレス宛てに 件名:「7月7日シンポジウム申し込み」、  
本文:「所属・職種・氏名」と、質問事項がある場合は質問事項をご記入ください。

お申込み先: [sympo@mch.pref.osaka.jp](mailto:sympo@mch.pref.osaka.jp)

## ▼ プログラム

### 第1部

10:00～

## 10代の思いがけない妊娠を考える

ごあいさつ

10:10～

クリニックラウンによるオープニング

10:25～

### 講演 奇跡のそばにいるということ

講師：**今西洋介**（大阪母子医療センター 新生児科 診療主任）  
漫画・ドラマ「コウノドリ」の小児科医モデル医師

11:25～

### 講演 思いがけない妊娠の相談窓口「にんしんSOS」と10代の妊娠

講師：**佐藤拓代**（大阪母子医療センター 母子保健情報センター 顧問）

### 第2部

## 妊娠を他者に知られたくない女性に対する支援を考える

13:00～

### 特別講演 ドイツにおける妊娠葛藤相談所・内密出産の取り組み

講師：**P.ヘレンバルト事務局長** 同時通訳付き

（ドイツ連邦共和国ドナム・ビタエ・ヴィスバーデン妊娠葛藤相談所）

14:30～

### シンポジウム 座長：**佐藤拓代**（大阪母子医療センター 母子保健情報センター 顧問）

<シンポジスト報告>

#### ① 特別養子縁組の取り組み

**ロング朋子**（一般社団法人ベアホープ代表理事）

#### ② 韓国における未婚の母への支援

**姜 恩和**（埼玉県立大学社会福祉子ども学科准教授）

#### ③ 妊娠を他者に知られたくない女性に対する海外の法的支援

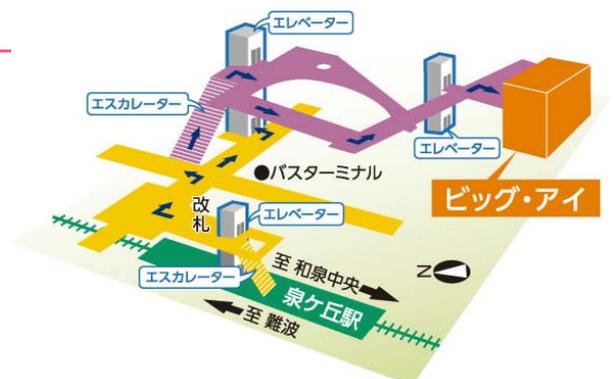
**床谷文雄**（大阪大学大学院国際公共政策研究科教授）

<ディスカッション>

特別講演講師及びシンポジスト

## ▼ 交通アクセス

国際障害者交流センター（ビッグ・アイ） 多目的ホール  
泉北高速鉄道「泉ヶ丘駅」下車 徒歩約3分  
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台 1-8-1  
TEL 072-290-0900 FAX 072-290-0920



## ▼ 事務局

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 母子保健情報センター母子保健調査室  
〒594-1101 和泉市室堂町 840 TEL (0725)56-1220 FAX (0725)56-5682